

6/29 白亜紀末期の重要な化石記録  
天草町で草食恐竜の化石を発見

天草町の地層から草食恐竜の新たな化石が発見され、市と福井県立恐竜博物館が共同で記者会見を行いました。

化石は、姫浦層群下津深江層（約7,200万年前の白亜紀末期の時代）から見つかったもので、上顎と下顎の歯が各1点。調査の結果、中型の草食恐竜（ハドロサウルス上科）のものと判明しました。国内には恐竜が絶滅した白亜紀末期の化石記録が少ないため、絶滅前にどんな恐竜がいたのかなどを知るための手がかりになる重要な化石です。

この化石は、8月31日まで御所浦白亜紀資料館に展示されます。



▲発見された歯の化石（左が下顎、右が上顎のもの）

詳細を説明する同博物館の柴田主任研究員（左から2人目）▶



7/6 犠牲者の冥福を祈る  
昭和47年発生上天草大水害50年式典

上天草大水害の犠牲者を悼むための式典が倉岳体育館で開催されました。

昭和47年7月、天草上島の東部一帯で起きた水害は、現在の上天草市を中心に多くの犠牲者を出し、倉岳町でも29人が亡くなりました。甚大な被害をもたらしたこの水害を忘れずに後世へ引き継ぐため、倉岳まちづくり協議会が主催し、遺族や関係者など約100人が参列。献花や黙とうで犠牲者の冥福を祈りました。

堀川桂さんは、「大水害を風化させないよう後世に伝えなければいけない。当時の経験から共助の大切さを知った」と話していました。



◀献花をする参列者



遺族を代表して堀川桂さんがあいさつ ▶

7/15 五和町の温泉施設「ユメール」にキャンプ場がオープン



▲海が見える最高のロケーション

7/14 有明町公民館講座 人生会議をやってみよう



▲“もしもの時に残された時間をどう過ごしたいか”をカードゲームで考える

7/10~17 はまぼう観察週間



▲説明を受けながら観察する新和小学校の6年生

宝島の



◀各地のわだいをもっと見る！  
市ホームページ「トピックス」

6/25 地域のために海岸を清掃  
栖本町の末松秀春さんが  
“くまもと環境賞”を受賞

くまもと環境賞の表彰式が県庁で行われ、栖本町の末松秀春さんの他、9組の団体・個人が表彰されました。

同賞は、県がより豊かな環境の保全・創造に関する活動に顕著な功績があった人などを表彰するもので、末松さんは平成27年から続けている海岸清掃活動が認められて受賞。地元海岸の堤防沿い約2kmを週に2・3回、6年かけて清掃し、これまでに約2,500袋のごみを回収しました。

末松さんは、「表彰を受けられてありがたい。体が動くかぎり、続けていきたい」と意気込みを語っていました。



▲7月1日に馬場市長を表敬訪問

消波ブロックの隙間のごみを回収▶



6/19 甘酸っぱくてさわやかな  
晩柑スイーツが勢ぞろい  
7/31 あまくさ晩柑フェア2021



▶試食会でスイーツを堪能する参加者

6/1~11月上旬 夏の訪れを告げる  
牛深沖に漁火がともる



▲闇に映える「棒受け網漁」の漁船の明かり

7/7 御所浦保育所で七夕会



▲童謡「たなばたさま」に合わせて踊りを楽しむ

6/17 一町田保育園の年長組が  
ちびっこ消防クラブに入部



▲「絶対に火遊びはしません」と力強く宣誓

6/17 天草小学校の4年生が  
環境問題を学ぶ



▲市職員の話熱心に聞く児童たち